牛久市歯科医師会発行

歯の健康新聞

第36号

令和8年11月8日

生え変わり時期の口腔ケアについて

個人差はありますが、子どもの歯は6~12歳頃にかけて永久歯に生え変わります。生え始めたばかりの歯は、

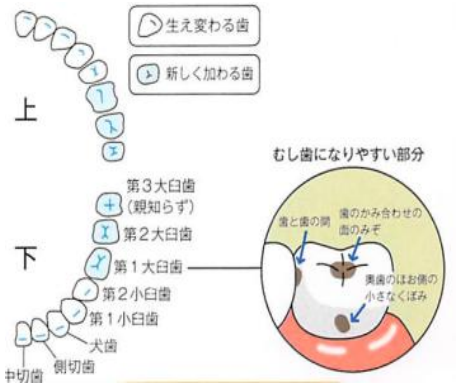
①やわらかく酸に溶けやすい

②表面がざらざらで汚れが付きやすいため、むし歯になりやすい状態です。注意して口腔ケアをしてください。

むし歯ができやすい場所は 特に、奥歯の噛み合わせ部分の溝や奥歯と奥歯の間はむし歯ができやすい場所です。

また、奥歯の頬側面の溝も要注意。

磨きやすい部分ですが、生え始めは歯肉に覆われており、側面の溝の部分にプラークがたまりやすくなっています。





政府の調査では、小学6年生のむし歯の6割は下顎の第1大臼歯(左上図)に発生しています。

第1大臼歯は6歳頃に生え始めます。口の中をのぞいて白い歯が見えてきたら、丁寧に仕上げ磨きをしてください。

歯科医院でのフッ化物塗布をしてもらうこともむし歯予防に効果的です。大人になっても歯を失わないために、生え変わり時期からしっかりと口腔ケアをすることが大切です。



虫歯になりにくいお菓子を選びましょう





牛久市歯科医師会は1986年6月の牛久市市政施行と同時に当時の茎崎町と分離し発足しました。現在35 歯科医療施設の管理者と勤務医で構成されており、日々の歯科診療の他牛久市との委託契約により成人歯周疾患検診や学校検診、1歳半・3歳児検診をはじめとして牛久市民の皆様に様々な医療サービスを提供しています。